

## 第1回新潟県地域未来戦略有識者会議 議事概要

### 1 開催概要

- (1) 日 時：令和8年5月21日（木）9：30～11：30
- (2) 会 場：新潟県庁西回廊講堂
- (3) 出席者：委員11名中、11名出席（うちWEB出席2名）

### 2 議事概要

#### (1) 知事政策局長挨拶

#### (2) 座長紹介、挨拶

#### (3) 事務局説明

資料3「地域未来戦略に関する取組方針」、資料4「新潟県の産業について」、資料5-1「地域産業クラスター計画（フードテック）について」、資料5-2「新潟県の特性を活かしたGX関連産業集積の重要性」、資料5-3「県及び市町村における検討状況」、資料5-4「17の戦略分野に関する県の取組」の説明を行った。

#### (4) 主な委員意見

事務局説明後の意見交換における主な委員意見は以下のとおり。

##### ア 地域産業クラスター（フードテック）について

- 新潟県は食品産業が基幹産業であり、これまでも県主導で業界に技術を普及させて日本一の米菓の集積地になったという経緯もある。まさに産業クラスターと言えるものであり、フードテックが新潟県の産業クラスターの第1弾となることについては賛成する。
- 県内に効果を及ぼすために、エリアごとに進める方法と、業種や分野といった切り口で進める方法の二つがあるが、いずれの方法であっても、県内に効果を及ぼすことが肝要である。今回、地域産業クラスター計画で掲げるものがどのように県民に影響を及ぼすのか整理していただきたい。
- フードテックの中にも様々な分野や生産から消費に至るまでのプロセスがある中で、特定のポイントに絞ることなく幅広に全体の底上げを図っていくとのことであるが、幅広に構えておくことは地域特有の産業等が参加できるメリットがある。どこに絞るかより、どのように効果を及ぼすのかということに力を置いていただきたい。

- 新潟県の強みとして一次産業が主になると考えるが、市町村が特定の品目で個々にプランを作るよりも、県としての一次産業の強みを反映できるようなプランになることが望ましいのではないか
- 農業分野は高齢化の課題等もあるので、付加価値で業界を振興し、全体的な底上げとなるような計画にしていきたい。
- 付加価値を高めて外貨を獲得することが計画の一番の趣旨だと思うが、製造業や食品製造業が付加価値を発揮するうえでインフラの高度化が非常に重要になる。
- 食品産業について、高品質な県産農産物が原材料になることが付加価値を高めると聞く。そのような原材料や農産物の確保、質や量の確保といった点も一つの論点になってくる。

#### イ GXについて

- クラスター計画の第1弾はフードテック、その次にGXを検討していくことについては賛同したい。

#### ウ その他のテーマについて

- フードテック以外にも、様々なエリアで様々なクラスターができていくことが新潟県内の付加価値向上につながるのではないか。
- 新潟の強みとして、大地と雪の恩恵による風土や風景、そしてそこから生まれる伝統や歴史が挙げられるが、そのあたりの視点を盛り込めないか。生産性だけではなく、土地のテロワールなどが織り込まれていると、雪の多い地域にも役割が生まれ、付加価値につながっていくのではないか。

#### エ その他

- チャレンジングな投資計画を民間企業で熟度を高めて検討するのは、時間もかかる重要な取組であることから、幅広く地域の企業への広報やプランを練り上げるためのサポートが重要だと思う。
- 稼ぐためには、生産性を上げるだけではなく、ボリュームを増やす必要がある。そのためには、尖ったところを吸い上げていくことや、海外市場に展開していくための投資をしていくことが大事だということに触れていただきたい。
- 小規模な自治体はマンパワーの不足が切実であることから、県からの助言や支援をいただきたい。

- 短期間で計画を策定していくことになるので、各主体がどのタイミングでどのようなことを検討したらよいか時系列で整理できるとよい。

以 上